

土城に於ける馬賊襲撃事件



合集員全族家の員所在土城

## 馬賊襲撃事件

中江署土城駐 小林忠治

満洲事變以來對岸東遼道一帶に亘つて馬賊の跳梁まごとに騒然たるものがあつたのであるが、昭和七年夏から云ふものは比較的警備力の稀薄な鮮内江岸駐在所や、部落を襲撃するこゝ屡々にして、それは一種の報復的手段とも見られるものであつて眞に殘忍を極めたのである。それにも拘はらず我親愛なる警備員各位は常に克く寡を以て衆を制し、賊徒を擊退して警察官の威信を發揚し、保境安民の重責を果して來たのである。私は其の辛勞に對し限りなき感謝と感激を捧げなければならぬところである。

爾來關東軍の剿匪工作其の効を奏し、賊徒は奥地方面に散逸して小康を得たかに思はれる狀態にあつたのであるが、渠等の鮮内襲撃の野心は依然として益強く、最近の情報を綜合思案するに益勢力の擴大強化を圖つて此の結氷期を期し、大大的鮮内侵入を敢行し武器、衣食を掠奪せんとして、蠢動絕

## 土城に於ける馬賊襲撃事件

ゆる間もなき状態である云はねばならぬのである。果せるかな昭和九年一月二十三日午後十一時二十分突如として百餘名の賊徒、管下慈城郡長土面土城駐在所所在地に猛襲し來り放火・殺傷・掠奪等兇暴を見たのである。即ち馬賊の頭目王殿陽配下に屬する一團が拳銃・長銃・槍・青龍刀などあらゆる武器を携帶し、輯安縣仙櫛溝より鴨綠江水上を渡つて鮮岸に殺到し掠奪、交戦の二隊を編成して、傍若無人にも進軍喇叭を吹奏しつゝ前進、掠奪隊は長銃・拳銃・槍を擬して部落を侵襲、放火、殺傷、掠奪を敢行し、交戦隊は駐在所を猛襲し來つたのである。同所の首席以下六名は、機關銃及小銃を以て一齊に應射し又敢然として突撃を試み、我が警察官の壯絶なる意氣を示し、午前零時二十分之を擊退したのである。所員は尙も對岸白馬浪に追撃したのであつたが、所在地の消火及死傷者の救護に努むる爲中途にして引揚げたのであるが、此の間警察官の勇猛果敢なりし活動に對して深く満足の意を表する次第である。さは云へ翻つて部落民の死傷、家屋の焼失其他金品の被害渺くなかつたことに對しては心から哀悼痛恨の誠意を表さねばならぬ次第である。

惟ふに事件發生地たる土城は對岸三の距離真に近く、加ふるに中江署より四時間、慈城署より一時間半を要する邊隙の

地に所在し、鴨綠江岸に於ては比較的富裕の部落として知られ馬匪賊の覗ふには好適の地形に在るので土城駐在所員は豫て一朝事變に際して陸接より應援を受くるに由なきを覺悟して全員協力一致して警備の萬全を期し緊張警備に服しつゝあつたのである。其の結果僅か七名を以て克く數十倍の大敵に抗し之を擊退し得たものであるが、欲を云へば斯かる大部隊の馬賊團の襲撃に依つても、もう少く部民の被害を少からしめ又もつゞ賊に損害を與へることが出來たらこそ思ひ殘念に堪えないものである。

時方に嚴冬季に入り、對岸に於ける物資の缺乏に依り賊徒の蠢動甚しく特に相當の部落に在る駐在所、出張所に在りては何時賊の襲撃を受くるやも知れない情勢にあるのである。

されば今更云ふ迄もないこまではあるが、國境警察官は這回の事件に鑑み一層緊張、事故の未前防止に努め我等の双肩に托せられて居る國境警備の重任を完うする爲一段々奮勵努力せられんことを熱望して已まない次第である。

(坂上満壽雄)

### 一、概要

昭和九年一月二十二日午後十一時二十分、反滿匪首王殿陽

及九州の率ゆる馬匪賊大刀會混合隊百數十名は當土城駐在所在地に侵入放火・掠奪・殺傷を敢行せるを以て當所員七名（小林部長・松本・高木・木庭・李・田巡査）は直ちに賊三銃火を交へ激戦約一時間にして賊一名を殲し四名に重傷を負せ之を撃退す。

## 二、賊の侵入日時場所

二十二日午後十一時二十分より翌二十三日午前零時二十分に至る一時間。慈城郡長土面土城洞駐在所所在地。（鴨綠江江岸にして戸數八十六、人口四百六十二の部落）

## 三、賊の系統人員、携帶武器

賊は豫て臨江縣紅土溝及輯安縣界方面に潜據せる反滿匪首王殿陽の部下九十名（大刀會二十名を含む）及馬賊頭目九州の部下五十名（大刀會匪十餘名を含む）の混合隊にして長銃七十餘挺モーゼル拳銃十餘挺、槍・龍青刀に爆弾六個、其他破壊機具を携帶何れも服装は黒木綿支那勞働服を着し、支那靴に鐵のガンジキ（標）を穿ち二食分の食糧を携帶せり。

## 四、賊の侵入隊形及當時の天候

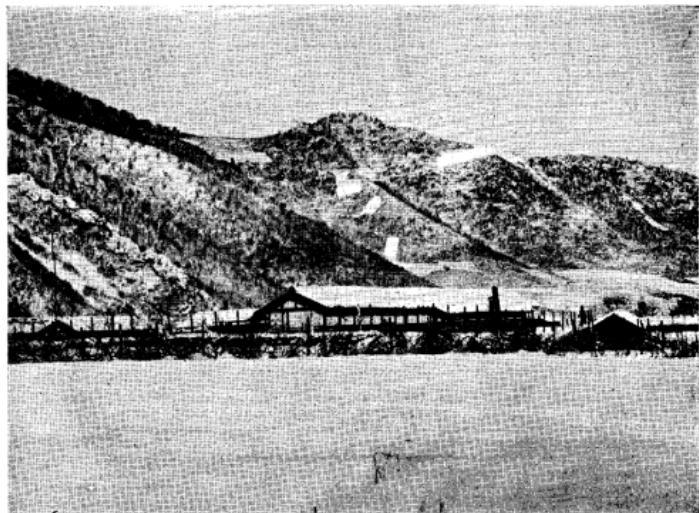
土城に於ける馬賊襲撃事件

## 五、彼我の衝突狀況

駐在所に於て設置せる土城洞東端に張込警戒中の自衛團員二名は前記時刻白馬浪急カーブより鴨綠江水上を渡渉し来る二、三名の怪しき黒影を認め、大聲支那語にて數回誰何するも何等の應答なきのみならず、次第に多數人馬の足音を耳にせるを以て馬賊來襲と直感し土城駐在所に急報し來たれり。

當時立哨警戒中の松本巡査は本急報に接すると共に直ちに江岸に駆付たる時、既に馬賊の集團部隊は所在地東端入口の鴨綠江に殺到し、部落を目寛けて猛射を開始したるに依り、事態急迫せるを以て豫て規定せる急報信號として長銃二發を發射すると共に所内見張中の田巡査は急を首席に告げたるを

土城に於ける馬賊襲撃事件



中江土城所在所全室

以て其時、伐洞巡視の爲出發用意を爲しつゝありし小林部長は折柄在所中の所員四名に非常召集を行ひ、（所員全部事務室に集合此間約三分、當時所員中就寝し居たるものなし）と共に小林は倉庫にありたる機關銃及實包二千發を取出して之を所員に分配し間髪を入れず賊を撃滅すべく、輕機關拳を携帶、所直前主要道路及要所に出でたる時、賊は早くも三隊に分れ一隊三十名を侵入江岸地點に位置し市街侵入部隊の後方擁護の任に備へ、一隊五十餘名は交戦部隊として駐在所周圍に殺到し残餘五十餘名の一隊は市街地民家の放火掠奪に任じたり。彼我の距離接近す、賊の交戦部隊は忽ち我に向て猛烈なる銃火を浴せ、機に乗じたる掠奪班は用意携帶せる放火具（綿に石油を注いだもの）に點火し、破壊機具ならびに龍青刀及長槍を振舞し、エーホー／＼の掛け聲を發して長銃拳銃を發射しつゝ主要道路に前進し、道路の兩側の民家に侵入、放火、殺傷、掠奪を眼前に恣にせるを以て見張臺に上りて所員を指揮しつゝありし小林は勇猛果敢に之を撃滅すべく、賊の先頭部隊に機關銃を向け命令一下を待ちつゝありし松本巡査外五名に「射方始め」の號令をなし發射せしめんとしたるもいかにすべき被害地部民の避難者相次ぎて賊の進路前に出で右往左往し散らばれるを以て、賊に對し猛撃を加へんか、我

が銃弾に依りて多數の良民に被害を與へ犠牲を出すべく、實に言語に絶する危機に直面したのであつた。

機に乗りたる頭目王殿陽及九州は馬上にありて青龍刀を振舞し、部下に進軍喇叭を吹奏せしめつゝ衆を持みて頑強に抵抗し亂射猛撃更に前進し來り、若し、躊躇せば所員全滅部落全滅の餘儀なき状態に陥るを以て、已むなく機關銃及所員を所構内に引揚げ、防備の位置に所員を配置し機關銃を発射せしめたるも六十數發發射位にして機關銃は不幸にも故障を生じ使用不可能になつたのを以て、已むなく所員を激励しつ長銃を以て連射を浴せたり、此の時賊の交戦部隊は駐在所柵外數十間の周圍に殺到し、駐在所を牽制蹂躪せんごし、又一方市内は賊の爲めに放火せられ瞬く間もなく火の海化し避難民の脅鳴、賊の喊聲、賊對當所員の猛烈なる交戦、實に言語に絶する場合を現出した。

事態は危険、寸時の間隙も許さざる状態を看取した小林は事務室内に飛込み、本署に電話を以て「土城所は三百名の馬賊來襲を受け目下全滅に瀕せり、至急應援を頼む」ミ第二報を掛けた。ミ、時間が猶豫がならない場合、心は不思議に落付いたのであつた。更に自宅に飛込み、前から有事の場合使ふすべく用意してあつた「ダイナマイト」十六發を取出して

雷管ミ導火線に手早く裝置し、之を持つて出で、駐在所の方十メートル附近に殺到せる賊の主力部隊を見掛けて投擲するミ共に、賊のひるむに乘じて所員に激勵、「陛下の警察官として國境警備の名譽の爲め」所員全部死に決し、期を見て賊の主力部隊に向けて獅子奮迅に積極的突撃に出た。爲に賊は此の状勢に辟易し、相次で先頭部隊は遂に退却を開始した。又一方駐在所の後方より構内に殺到せんごした賊二三十名に對しては、構内遊動防備に當りつゝありし木庭・高木の兩巡査が之に猛烈なる射撃を浴せ約十分にして賊一名を射殺撃退したのであつた。

茲に至つて彼我の戰闘状況は漸く我に有利に展開したるを以て、賊の陣營に動搖の兆が生じ、此の状勢を看取つた賊の頭目は信號警笛を吹いて、退却命令をした爲め、賊は死體一具に終つた爆弾二個、實包藥筒三百箇、槍、破壊機具、其他多數の遺留品を放棄して、四名の重傷者を擁し、進入當初の經路に向つて迅速機敏なる退却を開始したるを以て、われら所員は機を逸せず、之の追撃に出で、被害地現場直對岸白馬浪まで至つたが、この市街地の火災猛烈にして漸次延焼の虞れあるを以て、一應追撃を中止し、地元の鎮火に努める

### 土城に於ける馬賊襲撃事件

間であつたが、また十分間も或ひは十時間も思はれたのであつた。

以上の通りにして彼等の作戦計畫は部落侵入と同時に爆弾六個を駐在所の構内に投擲し一舉に粉碎して部落全部の掠奪を敢行せんと企てたるも、彼の投擲せる爆弾は二發共不發に終り、却て當所の投擲爆弾の爲め彼の志氣を碎き所期の目的を達せず、更に二三十名の賊を駐在所後方に殺到せしめ、駐在所員の前面の警備主力を後方に導き其の間隙に乗じて所前より南方部落を一舉に掠奪する計畫であつたが、之も亦われ等が彼等の作戦計畫に乗せられず、却て木庭・高木兩巡査の爲め僅か十分間位にして撃退されたのであつて、二つ共彼等は豫期した目的を達せず、退却の外道なきに至つたのであつた。

### 六、死傷及金品の損害

- 一、即死六名、重傷者二名、輕傷者一名
- 全焼 四戸
- 一、現金 一千七百圓
- 一、物品 二千三百圓

### 七、本件に依り得た體験

一、本事件の如きは全然豫期しない、全く不意打であつて、而も彼等は奥地八里的地點より二食分の食糧を携帶して一舉進出し來たつたのであるが、斯る大部隊の襲撃を受けた場合、所員の單獨行動は絶対に不利にして、若しその爲我に一二名の犠牲者でも出でんか、彼等は勢に乘じて幾倍の勇を得、反対に味方は志氣を沮喪し、容易に彼等に乗せられる虞れがあり、さうしても集團主義を探つて、素れない指揮の下に最後迄奮闘するのが最も効果のある方法なるを痛切に感じた。

二、江岸に散在する部落民、殊に相當密集部落を有する部民に對しては、何時斯る襲撃を受くるやも計難く場合に於ける迅速機敏なる避難方法等を打合せ置くこと。

三、當所の如きは所前より密集部落にして、市街戦なるを以て部民の避難完了前、賊の侵入した民家に発砲せば、我が銃弾に依り良民の被害も甚大なるを以て此の點に充分留意し良民の被害諱からしめる爲め、豫め時機を見計つて射撃を開始すること、現に當所員は一時間の交戦に於て八百發の弾を賊に發射したるも、民家には三發より命中せしめ

す。

四、事態急迫せる場合は從來所持して居る弾薬帶は弾の取出に不便なるを以て、弾薬盒及服のポケットに入れ弾の取出を敏捷ならしめるこ。

五、大刀會匪等は豫め襲撃一時間以前に阿片を服用し、精神的に死を怖れず正面に突撃し来るを以て常に機關銃等は試射を爲し充分自信を付け置くこ。

以上は今回の事件に關して余の直接體験した實感であるが斯る部隊の侵入を未然察知すること能はず、貴重なる生命多額の財産を彼等の爲めに蹂躪せられ民心に動搖を生ぜしめたるここの重大なる責任を痛感して居る次第にして、今後は絶対に斯る不祥事を惹起せしめぬ様努力してゐる同時に國境警備の萬全を期する爲め鴨綠江江岸に大防樓を設置し、之に機關銃及其他の設備を施し、賊をして一步も部落内に侵入せしめざる計畫の下に、部落有志の要望と相俟て約五百圓の豫算にて五月十日より防備工作に着手して居る状態であります。（昭和九年六月手記）

## 七、近時の感想

赴任以來十三箇年、此間幾多の事件に遭遇したのであります。土城に於ける馬賊襲撃事件

すが、就中金洞事件、若林大尉事件、帽兒山事件、近くは土城事件等は其内最も忘るゝここの出來ない重大事件であります。特に土城事件に付ては直接遭遇して、私の過去に於ける警備警戒等に缺陷あるを發見し、且つ對敵攻防の方法を

知得し、更に賊の來襲退却の動作を自擊して、將來の警備對策上、實に貴重なる體験を得ました。一時平穏でありました

國境は滿洲事件勃發と同時に惡化し、馬匪賊の横行も、又漸次統制ある團體的行動を採るに至つた爲め、直接警備に當る吾々も之に對應して堅固なる防備の必要に迫られ、其後年々補修を加へ來たのでありますか、今や國境第一線駐在所出張所の警備陣は、未だ完全とは云ひ難きも大體に於て完備し、何時大部隊の來襲其他包圍攻撃を受けても寡兵にて防ぎ援助隊の到着迄は之を支へ充分抵抗出来得る様防備してあります故、特別の油斷と失態なき限り駐在所出張所を彼等の爲めにむざ／＼蹂躪せらるゝが如きこことは断じて無きものと確信して居ります。

斯如く現在に於ける國境警備陣は既往の弱少なるものと異なり相當堅固にして、機關銃其他の武器も整備し、之に精銳なる警備員を配置してありますので吾々の責務は愈々重大なるを痛感します。國境警備の根本目的は馬匪賊の鮮内侵入を

## 土城に於ける馬賊襲撃事件

未然に防止し民心を安定し、以て治安維持を確保するにあります。吾々は常に其の職責の重大なるを自覺、上部よりの指揮方針を服膺して粉骨碎身奉公の誠を盡さねばならぬと思ふ。故に國境警備の要是馬匪賊をして一步も鮮内に侵入せしめざるを目的とするも、一面に於ては最悪の場合も常に考慮し、一朝有事の際に於ける攻撃防禦等に付ても充分研究訓練を重ね、不覺の失態を招かざる様細心の注意を拂はねばならぬと思ふのであります。

由來過去に於ける馬匪賊の來襲は極めて巧妙機敏にして大部隊の馬賊が愈々鮮内侵入を決行する場合は疾風迅雷的奇襲にして、而も計畫的であり、彼等は必ず成功する確心を以て襲撃するものなれば、之が防禦擊退の側に立つ吾々警備員も又敏速に之に應ずる準備を覺悟がなくてはならぬのであります。萬一警備員にして敏速を缺き躊躇逡巡するが如きこそあれば、彼等は其隙に乘じ總有暴虐の限りを盡し良民に多數の犠牲者を出し……等々、國境警察官の威信は根柢より地を拂ふに至るのであります。されば吾々は事故を未然防止に努めると共に、一方最悪の場合も充分考慮しなければなりません。此の勝敗の分岐點は現實に事件に直面したる瞬間に於て警備員が果して敏速に臨機應變に而も有効適切な措置を探り

得るや否やに依て決する瞬間の事實であると思ひます。御互に第一線に立つ吾々同僚が變轉極りなき、對岸の情勢を觀察して誰が本多馬賊の襲撃なしを斷言し保證することが出來よう。恐らく何人も雖も想像し得ないことで、吾々の如く晝夜直接對岸の情勢を偵察し、警戒に當りつゝあるものも雖も、賊の來襲を未然に察知することは、最悪の場合事實論として極めて困難のことであると思ふのであります。何となれば國境の警備は理論と實際に於て相反することが往々あるからであります。賊の來襲は吾々警備陣の油斷と隙を狙い一舉に決行するものにして、若し之の場合我に於て彼の來襲を事前に察知すれば之を撃滅すべき作戦を講じ遺憾なきを期するを以て、其の場合偵察に敏なる彼等は打算的に襲撃を斷念するのが既往に於ける幾多實例に徵し明白であります。併して國境警備員は常に専員を以て數倍の賊に當るのが普通であり、而も襲撃は行動に不便なる夜間であります。彼等は神出鬼沒何時來襲するか豫知し得ないのであります。斯様な状況であります故、吾々警備員は賊の來襲に當り、徐ろに作戦計畫を立てる暇もなければ何らする餘裕もないで、事實に直面して迅速に機宜の措置を探らねば悔ひを千歳に残すでせう。其處に國境警備員の苦心もあると思ふのであります。



義州署内空出張所の匪賊

根據地の周囲には三里四方に第一、第二、第三線と嚴重なる立哨を立て、討伐隊に對し眞剣なる警戒を爲しつゝあります。之見ても如何に彼等が身邊を警戒し、

土城に於ける馬賊襲撃事件

日満軍の馬賊討伐に當りても密偵を使用し、賊の根據を確め包囲するも賊は之を査知して他に移動し大跡を追撃する有様にして彼等は極力衝突を避けて逃げ且つ百名以上の部隊の集結し居る

更に思想的傾向ある紅軍以外の馬賊は鮮内官署の破壊、治安擾亂等の目的の爲め來襲するもの稀にして、其の大部分は掠奪を目的として襲撃の際駐在所に殺倒警備員を牽制するは彼等の掠奪の手段に過ぎないのであります。彼等こそ雖も道樂や面白半分で生命を賭して來襲するものでなく矢張り食料に窮し食はんが爲めであります。故に此の點より見て將來こそ最も大部隊の來襲は必ず鮮側に集團部落があり、比較的資産家のある而も遠距離にして速かに本署の應援の到着不能の駐在所尙對岸に警備機關の配置なき箇所を選んで來襲するものこそ思ふのであります。對岸に密碉部落があれば必ず其處には警備機關が配置せられるが故に、賊に取つては進出に障礙となりよしんば一舉に之を蹴散し鮮内侵入を決定するに雖も、滿洲側官憲に於て警戒上責任あるものなれば必ず上部に通報して急援を求むべくされば引揚等の際退路を断たれる虞あるを以て容易に鮮地侵入は執行し得ざるべく故に江岸に小部落に警備機關の配置賊の出沒状況、其他賊に内通する満人の居住狀況等を絶えず調査して彼等に對應する準備を整へてゐる

## 土城に於ける馬賊襲撃事件

次第であります。

最後に平素最悪の場合に善處する計畫として、未熟の計畫であります。左に述べることに致します。夜間來襲を受けた場合、一駐在所員が全員集り居ることは第一線駐在所として稀にして、殆んど半數或は一部は張込遊動警戒に出て殘留員にて之を勇敢に撃退せねばならぬのであります。

若し此の場合過早く賊の來襲を知り、鮮内部落に侵入前機先を制して機關銃を以て猛撃を加へる餘裕ある場合は別問題として、萬一賊が市内に侵入して掠奪を開始したる場合、之に直に猛撃を加へんか、多數の良民に犠牲者を出すことは警察官本來の使命より相當考慮しなければならない問題と思ふのであります。故に後者の場合は賊の掠奪實行中、警備員より機關銃に熟練ある決死隊を編成し、賊の感知せざる様賊の退路に迂廻せしめ適當の場所に待機し、賊の引揚に向け猛撃を加へ効果あるものと思ふのであります。余は國境警備の重責を果す爲め、以上の諸點に深甚なる注意を拂ひ、所員一致團結常に健康に留意し、國境警備の機能を最も有機的に發揮することを努力して居る次第であります。

現下日滿軍の大討伐に依り紅軍を除く大部分の馬賊は何れも歸順し、其數昨年の結水期の比に非ず雖も、當時武器を

隠匿して良民を襲ひ各地に四散せるもの多く、尙歸順後當局より自己の寫真一枚と旅費二圓宛を支給されて歸農せる賊も、時恰も結冰期に入りて農業は出来ず一般の者は歸順者なるを以て職を與へず、且下當所對岸を徘徊せる六十餘名の歸順者は食ふに糧なく、就くに職なき狀態なれば再び賊群に投するのではないかと注視して居る次第であります。

併而現に本年一月十七日紅軍の一派二百餘名が關東軍の爲めに撫松縣内に追詰られ、當所對岸五道溝黒河に現れ同地山林鐵道を包圍したる爲め、山林警察隊四百名と目下交戦中であります。

以上の如く現下の對岸情勢は樂觀を許さず、愈々吾々は悲壯なる覺悟を以て常に志氣を緊張し、殺伐たる氣分を信仰に依つて和らげ、國民の期待に背かざる様保境安民の任を遂行する決心であります。（昭十一・一・二十二）